



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社 マツモトキヨシホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本南海雄

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 尾和富士雄

TEL 047-344-5110

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	111,335	5.4	4,009	△5.9	4,573	△4.3	1,998	△7.8
24年3月期第1四半期	105,632	1.9	4,258	30.5	4,780	29.1	2,166	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 2,214百万円 (△9.0%) 24年3月期第1四半期 2,432百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	43.02	36.62
24年3月期第1四半期	45.36	38.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	217,855	116,054	52.7	2,472.80
24年3月期	214,404	115,721	53.2	2,455.90

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 114,846百万円 24年3月期 114,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	225,000	4.8	8,500	2.6	9,500	3.6	4,725	6.9	101.74
通期	450,000	3.5	18,700	3.3	20,500	4.4	10,500	5.5	226.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	53,579,014 株	24年3月期	53,579,014 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	7,135,263 株	24年3月期	7,135,183 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	46,443,815 株	24年3月期1Q	47,754,174 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
売上及び仕入の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）における日本経済の状況は、東日本大震災後の復旧・復興に向けた需要拡大を背景に、経済活動や個人消費は一部で持ち直しの兆しが見られたものの、欧州の債務問題・金融不安、海外の景気減速懸念、長引く円高や株価の低迷など、景気下振れ懸念が存在し、引き続き先行き不透明な状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましても、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要の反動減、競合企業の積極的な出店などにより、経営環境は大変厳しい状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、厳しい環境下でも安定して利益を創出できる収益基盤を確立すべく、これまでに示しております2つの重点施策（①事業構造の変革、②意識・行動の変革）に、新たにマーケティングプロセスの変革を加えた3つの重点施策に取り組むことで、お客様との絆をさらに深めることに注力してまいりました。

新規出店に関しては、関東地域を中心に、グループとして25店舗を出店し、お客様ニーズへの対応および既存店舗の活性化を重点に29店舗の改装を実施、スクラップ＆ビルドを含め将来業績に貢献の見込めない14店舗を閉鎖しました。

さらに、グループ競争力の強化、シェア拡大に向けたエリアドミナント戦略の一環として、東北地域に62店舗のドラッグストア・調剤薬局を展開する株式会社ダルマ薬局を本年5月14日付けで子会社化しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,330店舗となり、前連結会計年度末と比較して73店舗増加しました。

以上の結果、当連結会計年度は、売上高1,113億35百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益40億9百万円（同5.9%減）、経常利益45億73百万円（同4.3%減）、当期純利益19億98百万円（同7.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による品揃えの拡大などにより売上高は堅調に推移しましたが、花粉飛散量の減少、昨年発生した震災需要からの反動減、天候要因によるシーズン商品の低迷などにより、収益面では前年に比較し低調に推移しました。

一方、取組みを強化しております調剤事業は、診療報酬改定に伴う薬価引き下げの影響があったものの、地域医療連携を深めたことによる処方箋応需枚数の増加などにより順調に推移しました。

<卸売事業>

卸売事業は、F C契約先企業でありました弘陽薬品株式会社および株式会社イタヤマ・メディコの2社を本年2月10日付けで子会社化したことに伴い、両社収益が小売事業に寄与したため、卸売事業収益は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は1,061億16百万円（前年同期比6.7%増）、卸売事業44億93百万円（同16.6%減）、管理サポート事業7億26百万円（同10.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,178億55百万円となり、前連結会計年度末に比べて34億50百万円増加いたしました。主な要因は、商品が21億77百万円、土地が14億67百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,018億円となり、前連結会計年度末に比べて31億17百万円増加いたしました。主な要因は、未払法人税等が29億5百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が48億95百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,160億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億33百万円増加いたしました。主な要因は、配当金による13億93百万円の減少があったものの、四半期純利益19億98百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,656	8,168
受取手形及び売掛金	11,009	10,668
商品	58,136	60,314
貯蔵品	510	497
その他	13,367	12,282
貸倒引当金	△199	△204
流動資産合計	92,480	91,727
固定資産		
有形固定資産		
土地	40,998	42,465
その他	21,692	22,828
有形固定資産合計	62,691	65,294
無形固定資産		
のれん	6,580	7,388
その他	2,880	2,953
無形固定資産合計	9,461	10,341
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,335	36,163
その他	14,918	14,893
貸倒引当金	△482	△565
投資その他の資産合計	49,771	50,491
固定資産合計	121,924	126,128
資産合計	214,404	217,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,062	58,957
短期借入金	500	1,000
1年内返済予定の長期借入金	372	354
未払法人税等	3,821	915
賞与引当金	2,747	1,522
ポイント引当金	1,559	1,916
資産除去債務	24	23
その他	9,072	10,237
流動負債合計	72,159	74,927
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	380	305
退職給付引当金	929	1,048
資産除去債務	3,454	3,654
その他	6,759	6,864
固定負債合計	26,523	26,873
負債合計	98,683	101,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	88,334	88,938
自己株式	△16,757	△16,757
株主資本合計	114,528	115,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△467	△287
その他の包括利益累計額合計	△467	△287
新株予約権	14	14
少数株主持分	1,645	1,193
純資産合計	115,721	116,054
負債純資産合計	214,404	217,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	105,632	111,335
売上原価	75,876	80,346
売上総利益	29,755	30,988
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	177	356
給料及び手当	8,648	9,234
賞与引当金繰入額	1,408	1,501
退職給付費用	188	206
地代家賃	5,654	6,106
その他	9,419	9,573
販売費及び一般管理費合計	25,497	26,979
営業利益	4,258	4,009
営業外収益		
受取利息	52	45
受取配当金	120	122
固定資産受贈益	96	147
発注処理手数料	122	125
持分法による投資利益	0	—
その他	168	239
営業外収益合計	560	680
営業外費用		
支払利息	22	31
貸倒引当金繰入額	—	51
持分法による投資損失	—	20
その他	16	11
営業外費用合計	38	115
経常利益	4,780	4,573

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	1	1
その他	0	—
特別利益合計	2	1
特別損失		
固定資産除却損	62	65
減損損失	520	483
投資有価証券評価損	49	252
その他	72	162
特別損失合計	704	964
税金等調整前四半期純利益	4,078	3,611
法人税、住民税及び事業税	1,081	834
法人税等調整額	757	743
法人税等合計	1,839	1,577
少数株主損益調整前四半期純利益	2,238	2,033
少数株主利益	72	35
四半期純利益	2,166	1,998

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,238	2,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193	180
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	193	180
四半期包括利益	2,432	2,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,354	2,178
少数株主に係る四半期包括利益	77	35

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

① 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	63,478	35,951	147	5,242	813	105,632	—	105,632
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7	0	69,801	12,566	2,938	85,314	△85,314	—
計	63,485	35,951	69,948	17,808	3,751	190,946	△85,314	105,632
セグメント利益	2,971	981	153	3	258	4,368	△109	4,258

(注) 1. セグメント利益の調整額△109百万円には、のれんの償却額△187百万円及びセグメント間取引消去77百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額520百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で497百万円、「その他小売事業」で45百万円となり、連結決算における消去・調整で△22百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

② 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	63,252	42,863	41	4,451	726	111,335	－	111,335
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5	34	73,085	13,313	2,984	89,423	△89,423	－
計	63,258	42,897	73,126	17,765	3,710	200,758	△89,423	111,335
セグメント利益	2,551	1,165	101	21	310	4,151	△142	4,009

(注) 1. セグメント利益の調整額△142百万円には、のれんの償却額△235百万円及びセグメント間取引消去93百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額483百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で289百万円、「その他小売事業」で208百万円となり、連結決算における消去・調整で△14百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

株式取得により株式会社ダルマ薬局を連結したことや株式会社ぱぱすの株式を追加取得したことに伴い、新たにのれんが1,044百万円増加しております。

報告セグメントごとの増加額は、「調整額」で1,044百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業	106,116	106.7
卸売事業	4,493	83.4
管理サポート事業	726	89.3
合計	111,335	105.4

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
医薬品	32,041	106.6
化粧品	39,467	107.5
雑貨	22,060	103.4
食品	12,458	109.8
小計	106,027	106.6
卸売事業	4,385	83.1
合計	110,413	105.5

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
医薬品	20,654	111.2
化粧品	27,799	107.8
雑貨	17,118	101.5
食品	10,984	108.4
小計	76,556	107.3
卸売事業	4,208	105.2
合計	80,765	107.2

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。